

シリーズ 日本の古典 『源氏物語初版千年』

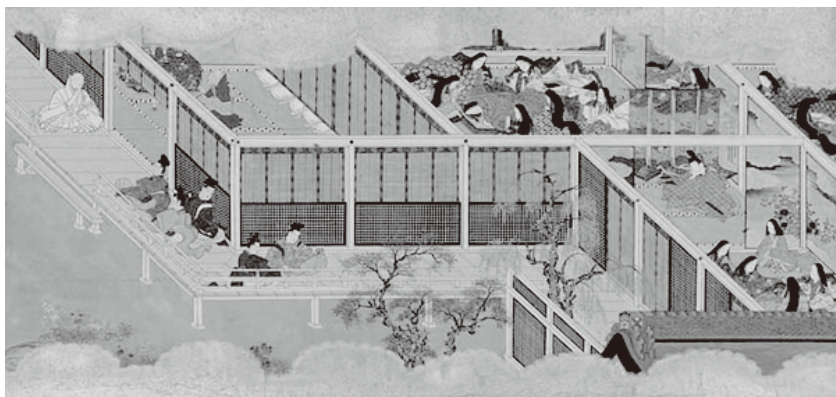
「この源氏の物語 一の巻よりして みな見せたまへと心のうちにいのる」更級日記

管原孝標女(すがわらたかすえのむすめ)は「源氏物語全巻を読みたい」という切なる願いを日記に記しています。
そして彼女が十四歳になり、常陸の国から京へ戻ったとき、彼女の元に五十四帖全巻が入った箱が届けられました。
寛仁五年(1021年)、紫式部が筆を起こしてから十三年たっていました。

それから千年。

いま「源氏物語」で奏でられた雅楽と「源氏物語」を受け継いだ能を通して、遙かな時代をふりかえってみます。

I サラマンカ能 —その式—

2021年1月30日(土)
14:00開演(13:30開場)

ヨーロッパの響き「パイプオルガン」、
日本の幽玄「能」
互いに呼応しあって立ち上っていく新たな「古典」
そして、「源氏」から能へと受け継がれた「葵上」

演目／能「葵上」、「パイプオルガンと創作能舞」、
能「石橋」ほか

出演／能：辰巳満次郎 仕舞：玉井博祐
オルガン：鈴木優人 ほか

助成／独立行政法人日本芸術文化振興会

II 雅楽 —光源氏の歌舞ひ—

2021年2月13日(土)
14:00開演(13:30開場)

「源氏物語」は、“音楽小説”と言ってもいいほど
全編に音楽が奏でられています。

神々へ捧げる宮中での「御神楽(みかぐら)」、
光源氏や貴公子貴女たちが楽しんだ「御遊(おんあそび)」。
その二つの音楽を聴き比べていただきます。

「神々楽伎座」という小編成の雅楽でその和琴(わごん)の音色や
渡来もの以前の民謡にルーツを持つ“歌もの”で平安室内楽をお楽しみください。

演目／第1部 御神楽
第2部 御遊「青海波」ほか

出演／笙：東野珠実
雅楽合奏：神々楽伎座(ささらぎざ)

助成／文化庁文化芸術振興費助成金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

会場／サラマンカホール

岐阜市藪田南 5-14-53

【チケット発売】2020.9.3(木)サラマンカメイト・一般同時発売

※窓口 9:00～ | 電話・インターネット 10:00～

※新型コロナウイルス感染防止のため、販売枚数を制限する場合がございます。

主催：サラマンカホール

《バラ券：サラマンカ能 / 雅楽》

全自由席 一般 各5,000円 [サラマンカメイト：各4,500円]

学生(30歳まで) 各2,500円

《日本の古典 I・II セット券：サラマンカ能+雅楽 2枚組》

全自由席 一般 9,000円 [サラマンカメイト：8,100円]

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※セット券・車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター

058-277-1110 [9:00～21:30]

チケットのネット予約は公式サイト
「サラマンカ・オンラインチケット」で

サラマンカホール 検索

